

事業名称		達成状況の評価
事業名	飯田工業・飯田長姫統合高校建設工事	A
整理番号	22-5	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	学校建設	
市町村名	飯田市	配慮した項目 30 = 100%
箇所名	飯田市鼎名古熊2535-2	
事業年度	平成22年度～24年度	配慮する全項目 30
事業概要		
目的	飯田工業高校と飯田長姫高校の統合に伴う校舎・施設等の整備	
事業概要	電気科棟(RC4F)、ものづくり棟(RC4F)、機械科棟(RC4F)、施工実習棟(S1F)、芸術科棟(S2F)、	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 風景観条例の住民協定地区	
その他	なし	
環境要素		環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	環境配慮の方針	
	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。	適正に実施
	排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
	著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実施
	低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。	適正に実施	
建築物の機密性向上、出入り口の構造の工夫、排水処理槽の被覆等により、悪臭の漏洩を防止する。	適正に実施	
地形・地質	地域の特性を形成する重要な地形・地質の変更を出来るだけ避ける。	適正に実施
	法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
景観	主要な眺望景観や自然・文化的景観を阻害するような建築物の立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
	工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	適正に実施	
文化財等	文化財等地域で親しまれている歴史的な建築物・構造物などやその周辺へ影響を及ぼすおそれがある立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施
信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
	施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。	適正に実施
	地熱、太陽光、バイオマス等の自然エネルギーや雨水、廃熱等の有効利用に努める。	太陽光発電施設を新校舎屋根に設置しました。
	LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	適正に実施
日照障害・電波障害・光害	建築物の断熱化に努める。	適正に実施
	日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。	適正に実施
電波障害が予測される場合は、電波吸収材や反射材の使用による反射障害や遮へい障害の防止又は代替措置を検討する。	適正に実施	